



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News



CONTENTS

介護福祉経営士

活動レポート Vol.2

九州支部編

2

●合格者の声

●2017年度

「介護福祉経営士」

資格認定試験案内

4

●全国介護福祉総合

フェスティバル開催決定

●「介護福祉のみらい」

作文コンクール

5

●今月の「介護ビジョン」

●今月の書籍紹介

6

INFORMATION

7

イベント掲示板

8



一般社団法人

日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局

☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>

制作:株式会社日本医療企画

編集・発行人: 林 諄

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地
もとみやビル3階

介護福祉経営士 活動レポート Vol.2

九州支部編

介護事業経営の要は『人』
信念をもって
人づくりにまい進する

人を育て、組織を変える!
介護経営塾 第2期

介護福祉経営士 活動レポート

Vol.2

九州支部
編

介護事業経営の要は『人』 信念をもって 人づくりにまい進する

人を育て、組織を変える！
介護経営塾【第2期】

合格者が1,000人を超え、介護福祉業界を盛り上げる介護福祉経営士。
さまざまな業種が集い意見を交わす研究会こそ、介護福祉経営士活動の醍醐味といえる。
今回は次世代リーダーの育成に取り組む九州支部の活動をレポートする。

日本介護福祉経営人材教育協会九州支部が行ってきた『介護経営塾』は、「人を育て、組織を変える!」と銘打ち、経営の視点を持った介護事業を担う次世代リーダーの育成を目的に開催。2016年9月から2017年2月までの半年間、塾長の木戸邦夫氏(社会福祉法人援助会理事長)と辻野高廣氏(社会福祉法人博愛会企画運営本部長)のもと、計5回の講義を通して、介護の事業構造・組織管理・人材育成について時代の変遷を捉えながら、あるべき姿を議論してきた。

最終講義は、これまでの講義を振り返りながら、座談会形式で意見交換を行った。まず、木戸氏が、「介護経営を考える上で重要なことは、まず組織を理解すること。この業界で働く人は、専門職としてのスキルは高いけれど、プロの組織人としての自覚がない。組織を理解しなければチーム力も発揮できない」と問題点を指摘。続いて、辻野氏は「私たち介護現場の人間は、上司や同僚ではなく、利用者にとってよい職員でなければならない。迷った時、常に主語は誰か? と自分自身に問うことで行動が決まってくるはず。組織のなかでの自分をイメージできるよう、意識変革を促すことが大切だ」と職員教育の必要性を強調した。

組織づくりを進めるためには、要となるリーダーの育成が課題だ。中堅リーダーの育成に悩んでいる介護事

業所が多いことについて、木戸氏は「当施設は職員約60人だが、立場が人を育てるとの思いから、経営企画室を設けた。現在介護福祉経営士を含む3名を配置し、ある程度の裁量権を与え、事業推進を任せている。人を育てるために意図的な組織づくりを進めている」と説明。

一方、相談員から施設長、そして昨年4月から法人全体を束ねる企画運営本部長に就いた辻野氏は、「常に『どんな福祉人になりたいか』と問いかけ、マイ・ケアプランを立てている。上司は嫌われてこそという考えもあるが、こんな風になりたいと憧れられるリーダー像を確立したい」と話し、自身がリーダーとしての手本を後進に示すことで、「新たな若手リーダーの育成につなげたい」と決意を述べた。

最後に、ブランド化戦略について話が及んだ。辻野氏は「組織のなかに『こんな人になりたい』『あの人と一緒に働きたい』という存在がいれば、その人自身が広告塔となり、人も集まり、組織力も高まる」と強調。木戸氏も「介護事業経営の柱は人である。時間はかかるけれども『組織づくり＝人づくり』の信念をもって、それぞれの法人理念に沿った組織風土をつくっていくことが大切」と語った。

そして、半年にわたった介護経営塾を「介護事業経営の経営管理目線」(下記参照)にまとめ、幕を閉じた。

受講者の声

- 約半年間、木戸塾長と辻野塾長の講義を通して、経営トップとしての考え方やリーダーの役割を学ぶことができた。特に介護は人が要となる仕事だけに、人を育てる経営をしていきたい。
- 介護事業の経営者として、これまで役目を果たせていなかったと反省。経営者としての責任が果たせるよう、組織を引っ張っていきたい。

【介護事業経営の経営管理目線】

1 組織って、何ですか?

- 私は専門職
…ではなく、プロとしての職業意識を持つ
- 世間の常識、介護の非常識
…遅れている人材育成教育を徹底する
- 経営に時間は有限、しかし介護には無限
…時間の有効活用
- 目標管理とは
…目標のない仕事はアマチュアの世界
- 私たちの職業観
…私ではなく私たちの共通職業観がプロ組織人の本質
- 組織人と組織力
…組織は経営の根幹、組織人が組織をつくる
- 変化
…変化しない、それを好まない組織は風前の灯火
- 自主性と主体性の違い
…何れも薄いのがこの業界の平均的従事者

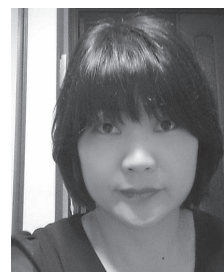
2 リーダーの役割、あるべき姿

- プロフェッショナル …正にプロフェッショナル、そのリーダー
- 自覚と覚悟 …自己覚知、職業魂
- 委任と責任 …この区分けができないと、部下は育たない
- 後継者とリーダー養成 …どの事業者にも共通した課題

3 経営目線とは何か?

- 福祉事業の経営目線 …介護の質は経営の質、認知されるレベルへ
- 開かれた経営 …隠蔽体質、閉ざされた経営は悪質(虐待他)に通じる
- PR活動 …地域に支えられ、地域の資源であること
- 優しさと厳しさ …人がいないから辞めさせられないはアマチュア経営者





介護福祉経営士の取得が、 職員の目標の一つになることが今の夢

原田 和代 ●はらだ・かずよ

医療法人社団鶴友会
介護老人保健施設メディエイト鶴翔苑
看護師、介護福祉経営士2級

施設看護師として 利用者の生活に携わり11年

施設看護師として介護老人保健施設に勤務し、11年目を迎えます。それ以前は病院に勤務していましたが、お世話をした患者さんが退院後、どのように生活されているのか興味を抱くようになり、施設看護師の道に進みました。

医療関係の仕事を選んだのは、人の世話をすることが好きで病気の方の役に立ちたいと考えたからです。実家は祖母と同居しており、かかりつけの先生に往診に来てもらったり、祖母の世話をする母の姿を見ていたこともきっかけとなったのかと思います。

施設看護師の仕事は、病院とはまた違う大変さがあります。最初は、その違いに戸惑い、不安でした。ですが、「あなたがいてくれると安心する」という言葉や、最終的に看取りを迎えたご家族から「ここで最期を看取ることができて本当に良かった。ありがとうございます」という言葉をいただいたとき、一人ひとりの生活（人生）に寄り添うことが少しでもできたのかなとうれしく思います。

資格取得が多職種への理解を 深めるきっかけに

超高齢社会の現代では、施設にも在宅にも高齢者が増えています。老々介護も増加しています。病気と付き合いながら在宅生活を継続するためには、介護福祉と医療がお互いに連携し支えあっていく必要があります。介護福祉経営士を学ぼうと考えたきっかけも、その一端を担っていけたらという思いからです。

職場の育成面接で、介護職や介護支援専門員等の他職

種に、所属長として適切な指導が行えているのか不安があると打ち明け、勉強したいと相談したところ、上司より介護福祉経営士という資格があることを教えていただきました。

受験を決めたのは、試験の3か月前。実習やイベント企画が続き仕事に追われるなかでの試験勉強となりました。テキスト10冊分の知識が頭に入るのか心配でしたが、6年前に受験した介護支援専門員の勉強が役に立ち、スムーズに進めることができました。今の仕事に重なる部分が多かった点も良かったのかもしれません。

介護福祉と医療の連携にはお互いの役割を理解し協働することが不可欠ですが、資格取得の過程でこれまで知らなかった介護職等の歴史や教育課程を学んだことは、他職種への理解を深める良い機会になりました。また、知識が増えたことで多角的な視点で物事が見えるようになり、組織の課題も明確になりました。

介護職の専門性を高め、適材適所で 働ける人材を施設全体で育てていく

医療度の高い高齢者に対応できる訪問看護師と同じように、介護職の果たす役割も大きく、期待されています。これからは、介護職の専門性を高めつつ、さらに適材適所で働ける人材を施設全体で育てていかなくてはなりません。そして、仕事にやりがいや目標が持てる活気のある職場にしたいと思います。

今後は、先に資格取得された方と交流し、情報共有していきたいと思います。まずは次の1級取得が目標ですが、いずれはこの資格を活かしてマネジメントに携わることができたらと考えています。そして私のチャレンジが、介護の現場で働く職員の目標の一つになることが今の夢です。

2017年度 「介護福祉経営士」資格認定試験のご案内

「介護福祉経営士」資格認定試験（一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会）の2017年度試験日程が公開された。

第13回 2級	第14回 2級 第4回 1級	第15回 2級
2017年 7月9日(日)	2017年 11月12日(日)	2018年 3月18日(日)

「介護福祉経営士2級」は年齢、学歴、国籍等の制約や保有資格、介護職の経験の有無にかかわらず受験することができる。「1級」は、「介護福祉経営士2級」の資格認定を受けること。

試験に関する情報は、同会ホームページ (<http://www.nkfk.jp/>) にて随時公開していく。

■「介護福祉経営士2級」資格認定試験概要

受験料	8,000円(税込)	出題問数	40問
出題形式	多肢選択式、マークシート記入	試験時間	60分
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません (成年被後見人および被保佐人でないこと)		
試験会場(予定)	札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・福岡		

介護福祉
経営士テキスト
のご案内

介護福祉経営士
1級試験 準拠

実践編 全11巻
価格:25,710円(税込)

介護福祉経営士
2級試験 準拠

基礎編 全10巻
価格:23,660円(税込)

開催決定

第2回

全国介護福祉総合フェスティバル in 横浜

地域社会における新たな介護文化の創造・発展を求めて
——今こそ必要な世代間の相互理解と融合

2017年
8月4・5日
開催!

来年度の「全国介護福祉総合フェスティバル」開催が決定!
詳細は決定次第、当会ホームページ等にてご案内いたします。



Vol.4

「介護福祉の未来」作文コンクール

優秀賞作品掲載

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う小学生、中学生、高校生に、介護福祉の大切さを知り、未来について考える機会をもってもらうことを目的に、2016年に「介護福祉の未来」作文コンクールを実施しました。今号より、高校生の部で優秀賞を受賞した作品を掲載します。

病院

群馬県立伊勢崎興陽高等学校 福祉と人間を学ぶ系列 3年 井田 栞里

私の祖母は祖父の介護をずっとやっていました。祖父は会社の夏祭の時に倒れ、救急車で運ばれ、脳梗塞と診断されました。のちにパーキンソン病と診断され近所のデイサービスへ通っていました。しかし病院で入院する事が多くなり「家に帰りたい」と何回も周りに訴えながらも病院で亡くなりました。私は祖父の死に方にとっても疑問があります。果して祖父は自分の死に方をどう思っているのか考えてしまいます。

祖父はとても元気のよかった人だ、と祖母は言います。父が言うには利根川の土手でうさぎを見つけては子供達を喜ばせる為に、うさぎを追っかけつかまえて、笑顔で家に帰ってきていたそうです。祖父はとにかく元気で私の知っている寝たきりの祖父とは全く違いました。

そして私の曾祖母は九十歳を超えても元気でした。散歩が好きで暇があれば歩いていました。料理を作るのが大好きでみんなが曾祖母の家に集まればおいしい料理を作ってくれました。しかし曾祖母は認知症になりました。大好きな台所に立っても火をつけっぱなしで散歩をはじめたり、机にあるものを全てを棚へあげたりしていました。そんな状況を見かねた私達家族は曾祖母を老人ホームへ預けました。施設へ入ってから孫の名前はしっかり覚えていてコミュニケーションも何不自由なくとれました。しかし曾祖母は病院へ移動することになりました。どうしてかは知りませんが、老人ホームから病院での生活が始まりました。しかし本当に曾祖母は元気だった為、点滴を抜いてしまう、勝手に車イスから立ち上がってしまう、そのような理由から体を拘束されました。手には手袋がはめられ、体全体を拘束されていました。するとあれ程元気だった曾祖母は拘束されて約一週間で言葉が話せなくなり、そして車イスにさえ座れなくなり、顔もやせ細って疲れ切った顔になってしまいました。車イスに乗れないからずっと寝たき

りの状況でした。口で食事でもできなくなり、機械で心臓を動かしているようでした。介護士をやっている姉が曾祖母のお見舞いをして状況を把握した時、強い怒りを覚えたようです。パジャマに血がついており、老人ホームでの姿とは全く違った様子を見て、「拘束はしてはいけない」と思ったそうです。口から食事ができない、寝たきり状態、顔もむくんでいる状態、言葉を話す事ができない。そんな曾祖母を見て祖母も父も母も「早く楽になれたらいいね」と思っていました。そんな中、夜に祖母から電話が鳴り、「ひいばあちゃん亡くなったよ。ようやく楽になれたってお母さんに伝えて」という電話でした。「楽になれたね。あれだけ生きれば十分だ」と言っていました。姉は「いや、ひいばあちゃんもずっと生きたくはなかったよ。拘束さえしなければもっと長く生きられたよ」と言いました。私もそう思います。勝手に周りの人達が「あれだけ長く生きれば十分だ」と思うのはよくないと思います。あれだけ歩くのが、散歩をするのが、体を動かすのが好きだった曾祖母を「動かないように」と拘束してしまえば本人は悲しい気持ちになります。早く楽になればいいねと話し合ったあの時に曾祖母はベッドに一人、もう一度歩きたいと思ったはずで、そう感じた姉と私の目には棺に眠る曾祖母の顔は安らかではなく、どこか怒っているように見えました。

看護師からして見れば、何人もいる患者の一人でした。でもその一人だとしてもその患者には家族がいます。人が足りずに手が回らなくても拘束はできればいいと思います。祖父も「家に帰りたい」と言いながらも病院で亡くなりました。私と思うのは家に帰りたいと言う患者さんに対して最初から無理と思わずに帰れる為にはどうすればいいかを考えてほしいと思いました。私は今でも元気があった曾祖母と祖父の姿を忘れることができません。

注目の特集

介護の魅力を伝えるため 近づく介護と教育の現場

今、教育現場で認知症や介護について教育しようとする機運が高まっています。その背景には、子どもの頃から介護に興味を持ってもらったり、介護という仕事自体の魅力を伝え、人材確保の一助にしようということがあります。本特集では、教育現場や地域で行われている介護の魅力を伝える取り組みを紹介。自施設・事業所でも取り組めることが何かないか、ヒントを見つけてください。

「ときの人」は北原 佐和子さん。女優業の傍ら、介護福祉士として介護の現場で働き、またボランティア活動を展開するなど幅広く活躍する北原さんに、介護への思いと今後の目標を伺いました。



今月の書籍紹介

2017年版ケアマネジャー試験対策 過去問題解説集

2017年
4月発行

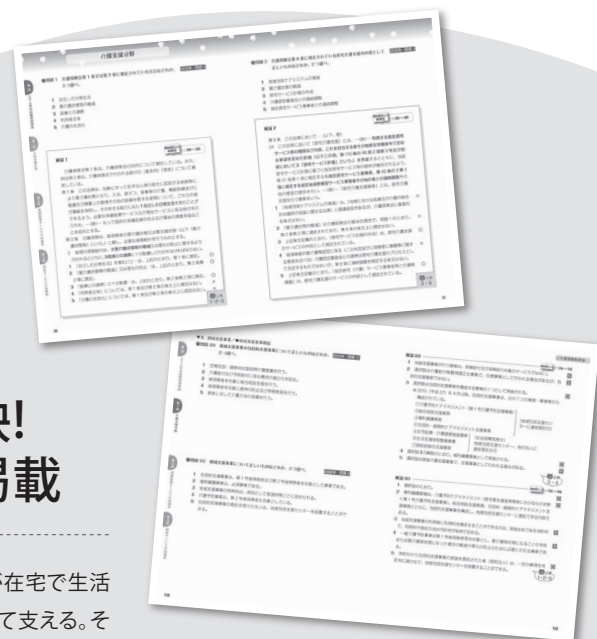
法・制度改正内容を過去問題に反映! 最新の本試験を含む過去8年分を掲載

地域包括ケアシステムでは、地域の重度の要介護高齢者や医療の必要な高齢者が在宅で生活できるように、近隣・家族の助け合いも含めた、多様なサービスをコーディネートして支える。そのコーディネーターはケアマネジャーであり、ケアマネジャーの質の向上が課題となっている。

本書は、優秀なケアマネジャーを一人でも多く輩出すべく、ケアマネジャー本試験の過去8年分の試験問題を分野・項目別に編集された問題集である。巻頭には昨年10月に行われた最新の本試験問題・解説を1問1ページの見やすいレイアウトで掲載。

これまでの法・制度改正の影響から、過去問題のなかには正解(○×)が変わっているものもある。本書ではそういった法・制度改正内容にも対応しているため安心して学習が進められる。

監修者は、高齢社会権利擁護研究所所長の野島正典氏。



野島 正典 監修
(高齢社会権利擁護研究所所長)

■ 定価: 本体価格3,800円+税
■ 体裁: B5判
■ ISBN: 978-4-86439-557-1

INFORMATION

理事会、支部、事務局からのお知らせをお伝えします



7,000人の合格者が誕生した 医療経営士の新春講演会を開催

一般社団法人日本医療経営実践協会は2月4日、富士ソフトアキバプラザ(東京都千代田)にて2017年新春講演会&新春の集いを開催した。第1部の新春講演会では、医師・僧侶で元プロボクサーの川島実氏が、『拳闘』と『仏法』から得たこと、学んだこと——私の人生観、経営観』をテーマに登壇した。

冒頭あいさつに立った同協会の吉原健二代表理事は、医療経営士3級資格認定試験の合格者の累計が7,000人を超えたことに言及。「医療経営士には、自院の経営にとどまらず、地域全体をよくするために何をすべきかを考えて仕事をしてほしい」と活躍に期待を寄せた。

続いて、川島氏が登壇。学生時代に教師から「家の手伝いをするように」と言われ、そのとおりにしたところ成績が上がったことを告白。「自分の身の回りのことをすることの大切

さを、身をもって学んだ。『私』が『私』であるためには、自分のことを自分でできることが重要。自分の身の回りのことが自分でできなくなる認知症患者や要介護者に対して、どうかかわるべきかを考えるうえでも重要なポイントだと捉えている」と話した。



国内で初となる保険外サービスの展示会が開催 第1回保険外サービス展2017

UBMメディア株式会社は1月25日、26日の2日間、「第1回保険外サービス展2017」を東京ビッグサイトで開催した。同展示会は、保険外サービスをテーマにした国内初となる大規模展示会で、「混合介護」の弾力化の機運が高まるなかで高い注目を集めた。

2日目に行われた特別シンポジウムでは、「公的保険外サービスの最新動向とビジネスとしての可能性」と題し、株式会社日本総合研究所マネジャーの紀伊信之氏が講演した後、導入事例として株式会社エムダブル日高代表取締役社長の北嶋史誉氏ら3人が講演。すでに保険外サービスを導入する先進的な事例に、会場には立ち見での視聴者も多く、関心の高さがうかがえた。

当日は第3回高齢者生活支援サービス展2017、第9回メディケアフーズ展2017、第13回統合医療展2017と同時開催。来場者数は2日間で1万4,213人にのぼった。



介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

関西支部

医療経営士・介護福祉経営士 関西支部合同研究会 坪ゼミ 医療・介護現場の問題解決法

医療や介護の現場で日々発生するさまざまな問題を科学的な考え方・手法によって解決することは、問題再発を防ぐだけでなく仕事の効率を上げ、現場改善にチカラを発揮する。本ゼミでは仕事の質を向上させるための基本を学ぶ。

- 日時：2月18日(土)、3月18日(土)、4月15日(土)、5月20日(土)
全4回14:00～17:20
- 講師：坪茂典氏(社会医療法人愛仁会本部介護福祉事業部長、
社会福祉法人愛和会本部統括部長)
- 会場：新日本有限責任監査法人大阪事務所セミナールーム
(大阪府大阪市北区角田町8番1号 梅田阪急ビルオフィスタワー37階)
- 参加費：協会会員全4回10,000円 各回参加3,000円
- 定員：50名※定員になり次第、締切。
- 主催：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会、
一般社団法人日本医療経営実践協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社
TEL.06-7660-1761

日本医療企画

対象 有料老人ホーム、高齢者住宅経営者

介護サービスの質を高めるイノベーションを探る 戦略的介護経営セミナー

いかに介護サービスの質を高めながら、業務の見直しを進め生産性を向上させるか、そして地域における中核拠点としての役割・機能を充実させるか。今後の介護経営に必要な戦略を制度面の解説と実践的なノウハウから探る。

- 日時：2017年3月9日(木) 14:00～17:20
- 基調講演：川淵孝一氏(東京医科歯科大学大学院教授、
一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事)
- 会場：コニカミノルタジャパン株式会社 セミナールーム
(東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング)
- 参加費：無料
- 定員：100名※定員になり次第、締切。
- 共催：コニカミノルタ株式会社、株式会社日本医療企画
- 後援：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会、
一般社団法人日本医療経営実践協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画
TEL.03-3256-2885

日本栄養経営実践協会

第2回全国栄養経営士のつどい 栄養経営士が創る医療・介護の将来像

2回目となる「全国栄養経営士のつどい」を福岡で開催。基調講演や特別講演のほか、日々の業務においてどんな工夫をし、どのような結果を出しているのか、栄養経営士による実践活動報告が行われる。

- 日時：2017年3月12日(日) つどい10:00～16:50、懇親会17:05～18:50
- 内容：
基調講演：栗原正紀氏
(一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院理事長)
特別講演①：佐々木淳氏(医療法人社団悠翔会理事長)
特別講演②：長英一郎氏(東日本税理士法人代表社員、所長) ほか
- 会場：パピヨン24ガスホール(福岡県福岡市博多区千代1-17-1)
- 参加費：事前参加登録：一般6,000円、懇親会5,000円
当日：一般8,000円、懇親会6,000円 ほか
- 主催：一般社団法人日本栄養経営実践協会

お問い合わせ 一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL.03-5289-7021

日本医療企画

経営企画と広報を考える会 (3日目 経営計画の立案と広報)

地域医療で担うべき役割の明確化や地域づくりへの参画など医療機関が抱える課題を解決するためには、経営企画室と広報との協調が求められる。本会では、両者の協調により成功した事例をもつ医療機関から講師を迎え、経営企画と広報が担うべき実践活動について考える。

- 日時：2017年3月25日(土) 14:00～16:00
- 講師：秋吉裕美氏(製鉄記念八幡病院経営企画室・係長)
- 会場：日本医療企画九州支社セミナールーム
(福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目3-6 第三博多借成ビル5階)
- 参加費：単回参加8,000円
- 定員：15名(事前申込が必要)
- 主催：株式会社日本医療企画
- 後援：日本医療経営実践協会九州支部

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 九州支社
TEL.092-418-2828

日本栄養経営実践協会 北海道支部

日本栄養経営実践協会北海道支部設立記念セミナー 栄養部門が変われば病院・施設が変わる！

今、管理栄養士には、美味しく心身に癒される食事の提供はもちろん、適切な栄養管理で治療にいかに関与し、経営の一翼を担えるかが求められている。スキルや知識を最大限発揮し、活躍するためには何が必要かを共に考え、理解を深める。

- 日時：2017年3月25日(土) 13:30～16:15
- 内容：
基調講演：児玉佳之氏
(医療法人社団佳生会こだま在宅内科緩和ケアクリニック院長)
特別講演：佐藤亮介氏
(社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院 管理栄養士) ほか
- 会場：TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前
(北海道札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館5F)
- 受講料：一般3,500円 ほか
- 定員：100名※一定の人数に達しない場合は中止することがあります。
- 主催：日本栄養経営実践協会北海道支部、株式会社日本医療企画北海道支社
- 後援：一般社団法人日本栄養経営実践協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 北海道支社
TEL.011-223-5125

介護事業経営研究会

介護保険法等改正法案と処遇改善加算の全解説と対策 これから始める介護保険外サービス

2018年は介護保険法改正、介護報酬と診療報酬改定と、過去最大規模の激変が必至。新たな経営の柱として、全く新しい介護保険外の導入の考え方や最新の動向を網羅する。

- 日時：2017年3月15日(水) 13:30～16:30
- 講師：小濱道博氏(小濱介護経営事務所代表)
- 会場：T's渋谷フラッグカンファレンスセンター Shibuya Flag 8H
(東京都渋谷区宇田川町33-6)
- 受講料：一般3,000円、C-MAS会会員2,000円
- 定員：30名※定員になり次第、締切。
- 主催：介護事業経営研究会 東京表参道事務局

お問い合わせ 介護事業経営研究会 東京表参道事務局
公認会計士野口新太郎事務所 内
TEL.03-6427-3035

